

第17回ハイライフセミナー

地域から日本を変える 7つの提案

日本の環境首都コンテスト

環境首都コンテスト全国ネットワーク
NPO法人 環境市民 杵本育生

1

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

2

1 人を生かす、創る

地域の公共をより良くするリーダー、コーディネーターが各セクターにいること、そのような人を創出していくこと

2 地域の将来像を描く

地域特性を生かした持続可能で豊かな地域の将来像を多様な参画をえながら描くこと

3 戦略的に事業を組立てる

将来像を実現するための道筋が、総合計画環境基本計画などで明確に示され、実行と評価に住民参加の仕組みがあること

3

4 環境、経済、社会を合わせる

環境、経済、社会—の3要素を合わせた相乗効果の得られる事業、活動を考案し優先すること

5 パートナーシップを深める

参画と対話を自治体運営の基礎にすえ、その仕組みをつくること

6 行政を総合化する

行政組織の縦割り弊害を除去し、総合的な施策立案と実施体制をつくること

7 率先例をつくりだす

多くの人々が実際に行動に移すために、人々に希望と勇気を与える成果事例をつくりだすこと

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

5



五十崎 小田川 日本の近自然改修発祥の地



住民が日本の河川改修を変えた



遊佐町少年町長・少年議会公選事業

- 1)自分たちの代表を選び、政策を実現していく過程を通じて、若者が民主主義を体験・学習し、社会の構成システムを学ぶ
 - 2)若者の視点による町政への提言や意見を町が積極的に取り上げることを通じて、若者の町政参加を促す
 - 3)関係者すべてが町政に対する若者の意見を学び、若者たちが社会システムや民主主義を学ぶという相互共育の場とする
 - ・町内すべての中学生、高校生の中から少年町長・議員を選出し、議会を構成
 - ・議会独自の政策予算は45万円(平成18年度)、
 - ・町への提言にともなう予算は所管課で別途予算化
 - ・予算をとともなう審議があるため、議会には各課長が出席
 - ・少年議会独自政策で、音楽イベント「遊佐ROCK」開催、駅前商店街の空き店舗を活用した喫茶店開店等が実現
- 少年議会の提案により町が実現したものは、通学路への防犯灯・カーブミラー設置、遊佐町デザインポスター作成、ふるさとCM大賞への参加

9

尼崎市改革改善運動（YAAるぞ運動）

職員が、自ら自分の業務を見直し、課題を見つけ、改善していく」こと。それを促す運動

理由1 財政難で、大幅な歳出削減

5カ年で800億円削減一般会計予算は1,844億円 2009年度

理由2 職員の意欲を高める

現場発信の改善で、負担感をなくす

目的 職員の創意と工夫で、できるだけお金をかけずに課題を解決する力をつける

10

気仙沼市立面瀬小学校

1年 - 自然と祭プロジェクト 『ふれあおう 自然！祭り！』

～

6年 - 環境未来都市プロジェクト 『僕らは地球人！～ウォーターフロント未来都市・面瀬編』

全学年 約100時間
連携したESD
プログラム

写真提供 及川幸彦氏



海のミュージアムプロジェクト - 5年



ブナ林の観察



まぐろ料理教室



海藻おしぼ



磯の生物観察



まぐろ船乗船

米国との共同学習による地球的視野の育成

米国の学校との共同環境教育

リンカーン・カリスバーグ小とのペアプロジェクト

 気仙沼市面瀬小学校	 Callisburg & Lincoln School
自然と祭りプロジェクト	Halloween & Thanksgiving
野菜栽培プロジェクト	School Garden & Warm Compost
BUGS (バクス) プロジェクト	BUGS - Dragonfly & Soil Project
面瀬サンクチュアリプロジェクト	Elm Fork River Project
海のミュージアムプロジェクト	Lake & Pothole Study
環境未来都市プロジェクト	Future City - Box City Project



リンカーン小学校の子供達とPothole (溜池) へフィールド調査



インターネットテレビ会議で発信

安城市 環境首都を目指す

ESD職員研修

- 行政職員の中に「環境首都実現へのモチベーション」を育む
- 持続可能な地域づくりに向けて「部局を超えた取り組み」「市民との協働」に積極的に取り組む風土と仕組みを生み出す
- ESDの視点から、地域のリソースを生かした学習プログラムや活動を市民との協働でつくる
- 市民と行政職員の協働による環境首都づくりに向けた施策、活動のアイデアが生まれ、実行に移されていくことを促進する



職員研修テーマ

- 第1回 <オリエンテーション> 「学習と協働で生み出す、持続可能な地域社会」
- 第2回 <環境> 「地球環境問題と私たちの暮らし、安城市の未来」
- 第3回 <多文化共生> 「多様な人々が暮らすまちが抱える課題に取り組む」
- 第4回 <教育> 「子供が育つ社会環境、学校と地域の教育力の今」
- 第5回 <食と農> 「これからの一次産業、農のあるライフスタイル」
- 第6回 <経済> 「地域社会とグローバリズム」
- 第7回 <先進地に学ぶ>
「環境首都のライバルに学ぶ 持続可能で豊かな地域づくり」
- 第8回 <市民との協働> 「市民が元気になる秘訣、協働がうまくいく秘訣」
- 第9回 <プロジェクト企画> 「安城ESD・環境首都づくり プロジェクトをプランする」

専門家の講義 + 参加型のワークショップ

15

参加職員のふりかえり

講座を振り返って、あなたが得た一番大きなものは？

具体的な問題点を知ることができた。それより、自分の視点が変わったと思う。
(行政課 Iさん)

グループワークがたくさんあり、まとめ役や人前での発表についても少し自信がついた。
(市民課 Mさん)

環境問題は水や大気汚染と思っていたのですが、多文化共生、経済といった生活環境も含めての学習は有意義だった。
(土地改良課 Oさん)



参加職員のふりかえり

講座への参加を、他の職員へ勧めたいですか？その理由は？

よい刺激になるし、今後環境問題も、市民との協働もどちらも市政運営に必ず必要な要素であるから。
(市民活動課 Nさん)

市全体で取り組み必要のある環境問題に対して、大きな意識改革が図れる。
(介護保険課 Oさん)

一部の職員のみならず、全職員に環境への意識を高めるのではなく、全職員に対して行うべき
(南明治整備課 Tさん)



回答者
21名 / 21名

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 **地域の将来像を描く**
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

安城市総合計画

めざす都市像

市民とともに育む環境首都・安城



専任の副市長をおく

北九州市世界の環境首都をめざす グランド・デザインの策定



環境首都推進室を設置

環境首都 予算

207事業 総事業費116億円
市民環境力強化 54事業18億円
都市の美しさ向上 52事業41億円
地球温暖化防止 49事業48億円
環境経営・ビジネス 23事業 3億円
監視・指導の強化 29事業6億円

横断的な取り組みを推進

広報室 企画政策室 技術監理室 総務市民局 保健福祉局、環境局、産業学術振興局、経済文化局、建設局、建築都市局
港湾空港局、水道局、教育委員会

21

福知山市環境基本計画 総合ビジョン

私たちが創りあげる^{あした}明日の福知山

空は青く澄みわたり、緑あふれる野山には、小鳥のさえずりが聞こえ、由良川にはたくさんの魚が泳ぎ、子どもたちの歓声が聞こえてくる。

花と緑でいっぱいのまちなかは、広々としていて、誰もが歩きやすい。商店街では福知山で収穫された有機野菜たちが店頭をにぎわし、たくさんの買い物客がお店の人と楽しい会話をしながら買い求めていく。

市民は誰もが「もの」を大切にし、クリーンなエネルギーを活用するよう心がけている。

明日の福知山には、お年寄も、若者も、みんなが手をとりあって笑顔で暮らし、学び、行動する姿が見える。

22

持続可能な社会を創る7つの提案

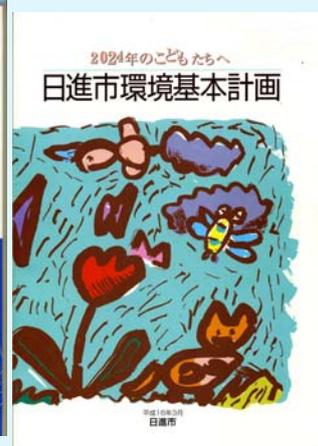
- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 **戦略的に事業を組立てる**
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

23

市民委員が主体となって作成した
環境基本計画書

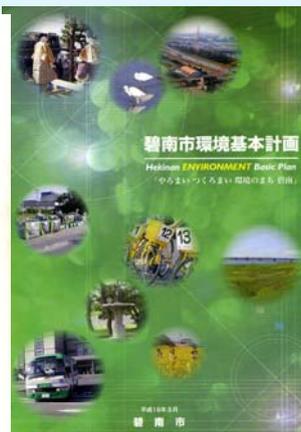


津山市



日進市

24



碧南市



ワークショップ風景

**2年間通算
141回の
会合開催!!**

フィールドワーク風景

エコネットワーク津山では・・・

エコネットワーク津山では、各種の具体的な環境活動を行っています。各活動には誰でも参加できますので、興味のある方はエコネットワーク津山事務局までお問い合わせください。

●リユースプラザ津山「くるくる」の運営
津山市における不用品のリユース、資源回収、各種環境啓発事業等の拠点リユースプラザ津山「くるくる」の運営を行います

●公共交通くもの楽大作戦
歩行者に優しいまちを目指し、公共交通の充実や利用者の拡大を図ります

●グリーンコンシューマーの養成
費用を考えた製品選びが、ライフスタイルや社会を変えていく！

●買物ガイドの作成
産地や産物に配慮した製品を取り扱っている店舗を紹介します

●つやま・エコ・システムプロジェクト
ゴミ減量や環境に優しい買い物（マイバッグ持参）などが得点する仕組み作りを行います
つやま・エコシステムでは、マイバッグ持参でエコシール1枚産品、一定枚数と産品を交換します

●地域通貨プロジェクト
環境、福祉、コミュニティ、教育、文化など、今の貨幣で表しにくい価値を伝える地域通貨の普及によって、市民やコミュニティ間の交流を促進します

●環境リーダーの養成
環境活動を地域で実行し、市民を育てる環境リーダーを養成するため、様々な講座やセミナーを開きます

●自然体験プロジェクト
○水の学校
水に親しみ、水辺の生き物の観察会や水質調査を行います
○森の学校
山に親しみ、花や虫の観察会や、間伐・炭焼き等の里山保全活動を行います

●市民農園プロジェクト
休耕田を含む遊休農地を活用し、市民農園を開拓します

●いのちをつなぐ生ごみ大作戦
生ごみを堆肥化し、農産物の生産に活用して安心安全な食糧作りを目指します

●まちあるき活動
まちを實際に歩き、まちにふれ、これからの津山を考えます

●津山エコ建築大作戦
歴史や風土、環境に配慮した建築を研究し、美しいまちづくりに貢献します

●お城山をきれいにする会
歴史等におけるイベントごみの削減を図ります

だれでも参加できます！！
面白くてためになる
環境活動

+ α プラスアルファ
あなたのやる気とアイデアが具体的なプロジェクトになります！

① 安らぎの自然豊かなまち

② 住んでみたいまち
住んでいたいまち

③ ライフスタイルを
見直し、心と体の元気な
エコ津山人の活躍するまち

④ 資源とエネルギーの
循環するまち

津山市環境基本計画ビジョン
★エコネットワーク津山の環境活動は、津山市環境基本計画のビジョンの実現も目指しています。活動名右上の丸数字は対応するビジョンを示しています。

ニセコ町 環境評価作業部会



隔週～毎週開催

現地調査も



白書本編での評価事例

分類 1: 水環境の保全を基盤に自然生態系や地域生活文化を守り育てる
 1: 水環境を育む森を守り育てる

I-1-(1) 森を守る (天然林の不伐地域を明確にし、効果的に保全する)

- 【行動目標】
- 1 天然林の実態を把握する
 - 2 所有者との間で、天然林の保全協定を結ぶ
 - 3 水源地域内での森林保全策を協定する
 - 4 大規模皆伐を避ける

【達成目標】 天然林の保全面積 = 2004年度に策定 ⇒ 【本年評価】 策定に至らず

○ 2003年度における達成度(総合的な)

区分番号	2003年度の目標値	2003年度評価		総合達成度
		達成度	達成度合い	
1	山林の実態調査、分布図作成 (2002~2011年度)	機体理解実態の整理	■■□□□	△
2	天然林保全協定の進捗研究 (2002~2003年度)	交付金支援制度の運用	■■□□□	
3	森林保全条例の調査研究 (2002~2003年度)		□□□□□	
4	不伐保全策の調査研究 (2002~2003年度)	森林法に基づく開発管理	■■■■■	

注記年度の総合達成度 ◎: 満足 ○: ほぼ満足 △: やや不満 ×: 不満

○ 2003年度に講じた施策と結果

- 【1】 天然林の実態を把握する
 二セコ町の森林面積は、12,910㌦で町全体の65.5%を占めており、山林は台帳「林班図」にて全て管理されています。

〈資料編: p97〉

表-1 林野面積と森林面積 (2003年) 単位: ㌦

林野面積 (㉔)	国有林			林野面積 計
	林野庁	地留庁	公有林	
面積	-	259	6,596	7,594
森林面積 (㉕)	無立木地			森林面積 計
	人工林	天然林	不伐保留地	未立木地
面積	2,484	9,171	843	412
				12,910

最終年(2011年)到達目標に対する達成度合い

当該年度の達成目標に対する達成評価の程度

- ◎: 満足
- : ほぼ満足
- △: やや不満
- ×: 不満

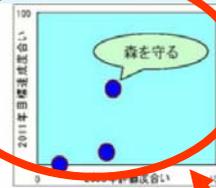
29

概要版での評価の表現

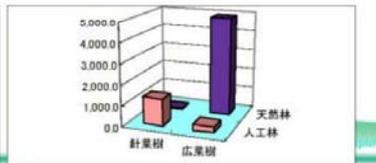
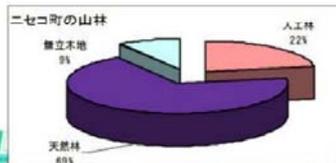
6 項目別評価編

分類 I-1 水環境を育む森を守り育てる
 (1) 森を守る (50/45)

- ・ 森林面積は12,910㌦で、町内の65.5%
- ・ 山林の71%は天然林で、無立木地は9.7%
- ・ 山林の78%は広葉樹…人工林: 針葉樹が86.5%、天然林: 広葉樹が88%
- ・ 森林整備地域活動支援交付金制度…(2003年実績) 677.9%, 6,779千円
- ・ 二セコ町の水源地は、9区域11ヶ所(2003年度末)
- ・ 2003年度の林地開発は、32件、156㌦で、3/4は山林以外へ転換…内 植栽は24.9%、森林以外への用途転換は72.5%



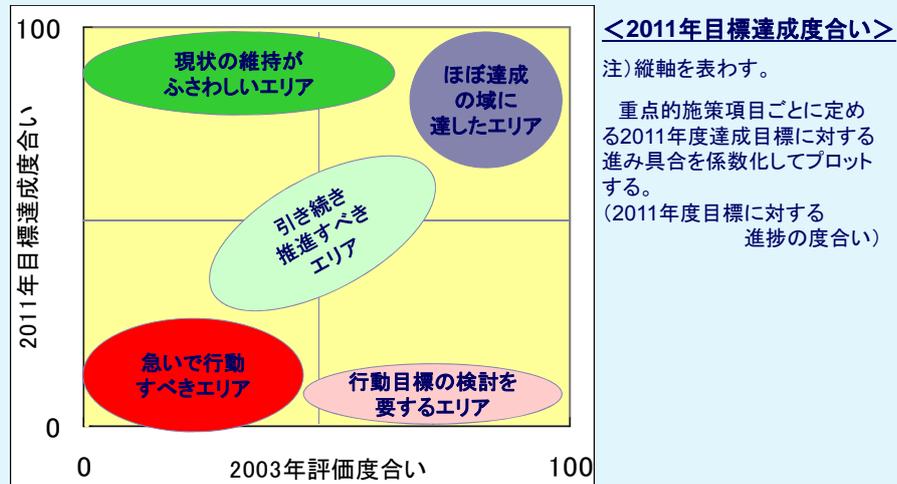
項目別評価プロット図



All Rights Reserved, Copyright 2002 NISEKO Town Office

30

VI 総括評価の考え方（総括図の見方）



<2011年度目標達成度合い>

注) 縦軸を表わす。
 重点的施策項目ごとに定める2011年度達成目標に対する進捗具合を係数化してプロットする。
 (2011年度目標に対する進捗の度合い)

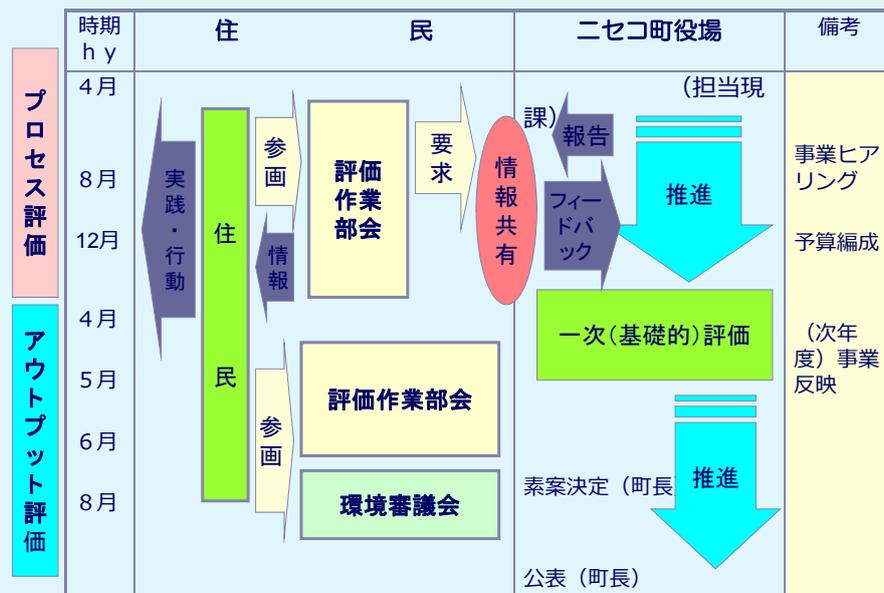
<2003年評価度合い>

注) 横軸を表わす

行動目標ごとの年度達成度合いから、重点的施策項目単位での達成度合いを係数化してプロットする。(2003年度目標に対する達成の度合い)

31

環境評価作業部会 二つの評価



32

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 **環境、経済、社会を合わせる**
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

33

野洲市 地域通貨で市民共同発電



加盟証
野洲の地域通貨券
すまいる
使えます。 ECOLocal.YASU.COM
野洲地産地消推進協議会

34



35

「すまいる」進化

池田町 ゆうき・げんき正直農業

生産における安全・安心を証明し、消費者に届ける仕組み



▲ ゆうきげんき正直農業の農地に設置されている看板

- ◆町独自の基準で運営
- ◆一筆ずつ現地審査
- ◆認証されたら「シール交付」

▼ 現地審査会の様子



池田町のアンテナショップ こっぽい屋

店のテーマは「風土 of コンビニ」。
懐かしさを毎日の暮らしに提供する
お店を目指して!



15坪で年商1億4000万円

感動体験南信州(飯田市等)

- ・地域の生業を活かしたツアープログラム
- ・目的別、年齢層別の多様多種のプログラム
- ・飯田市商業観光課が体験教育旅行の受け入れからスタート
- ・軌道に乗った段階で南信州18市町村と株式会社「南信州観光公社」



スラバヤの生ごみ堆肥化事業

- ・2004年から、廃棄物埋立地にそのまま投棄される生ゴミからメタンガスの抑制とごみそのものの減量を図る
- ・地域に根付く技術として生ゴミ堆肥化技術を開発し、普及
- ・現地のNGO、コミュニティ、行政との協働によって、20世帯から始めたモデル事業が約8,000世帯にまで拡大し、家庭からの生ゴミ発生量が大幅に減少した。



39

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 **パートナーシップを深める**
- 6 行政を総合化する
- 7 率先例をつくりだす

40

協力と協働(パートナーシップ)は異なる

パートナーシップと言われている事業、活動の多くは協力関係

協力はいいことだ。しかし、協働ではない

ともに**主体的**(責任とイニシアティブ)にかつ**相乗的**な成果が得られる仕事の組み立てをして協働・パートナーシップになる

A	B	C	D	E
市民活動の 独自領域	市民主導型	市民・行政 対等型	行政主導型	行政の 独自領域

41

パートナーシップの価値

1 目的(タスク)の達成

2 プロセス
そのもの

3 かかわった
人々・団体の変化

ネットワーク
の 形 成

関係の変化、深
化
(リレーション
シップ)

社会の主人公と
しての力の増大
(エンパワメン
ト)

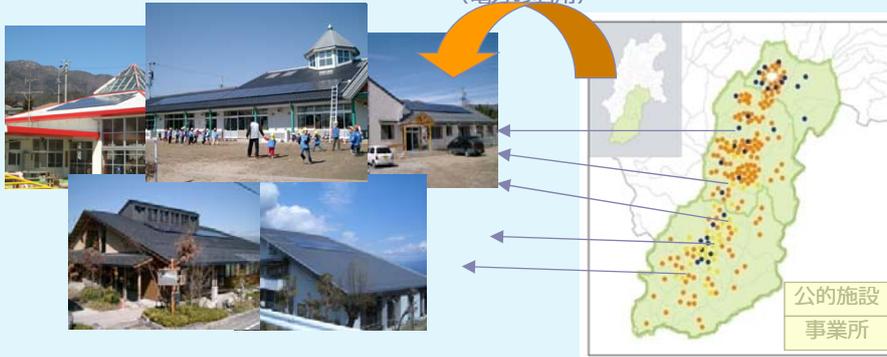
パートナーシップの評価

42

南信州おひさま発電所・設置プロジェクト

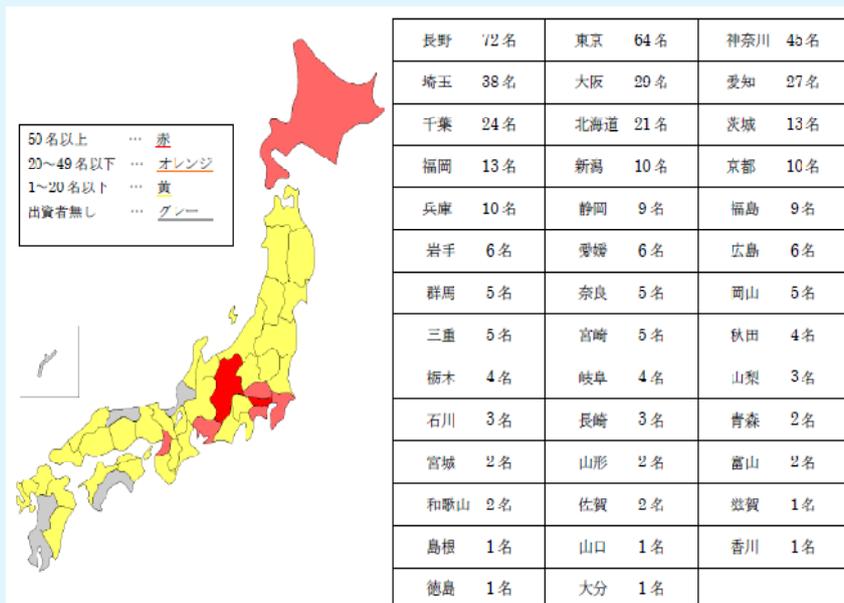
2008年度までで合計1208kW、約150カ所の太陽光発電システムの設置を行うプロジェクトです。

太陽光発電システムの設置
(電力の利用)



南信州地域を中心とした
約150ヶ所の
保育園・公民館・民間事

都道府県別出資者分布



まほろば事業の展開 市民参加型の太陽光発電事業



さんぼちゃん



自治基本条例、まちづくり基本条例

ニセコ町まちづくり基本条例

第5条(参加原則)

町は、町の仕事の企画立案、実施及び評価のそれぞれの過程において、町民の参加を保障する。

第3条(情報の権利)

わたしたち町民は、町の仕事について必要な情報の提供を受け、自ら取得する権利を有する。

第10条(まちづくりに参加する権利)

わたしたち町民は、まちづくりの主体であり、まちづくりに参加する権利を有する。

飯田市自治基本条例

議会が中心になってまちの憲法を策定した

議会が市民会議を設置して条例案を作成した

市民に対する説明、意見募集の地区説明会を実施、議員が受け付けも行った。

市長にも内容検討を依頼して、条例化

周南市『ひと・輝きプロジェクト』

- ・ 3年間かそれ以上の継続実施ができること。
- ・ 市の果たす役割が資金の提供または設備の供与のみではなく、制度、体制等の点で市が参加することにが条件と協働を前面に出している

倉敷市『ひと、輝くまち 市民企画提案事業』

横須賀市『企画提案型市民協働モデル事業』

47



市川市市民活動1%支援制度実施状況

年度	2005	2006	2007	2008
支援対象団体数	81	98	85	104
有効届出数	5,557	6,344	5,136	8,278
団体選択金額(円)	12,427,815	14,168,225	13,003,271	17,369,120
基金選択金額(円)	991,145	1,022,560	966,730	2,064,572

*金額には地域ポイントによるものを含む

48

1% あなたが選んだ市民活動団体を
あなたの税の1%でサポート
市民活動団体支援制度

2008年度の団体活動分野



活動分野	団体数
保健・医療・福祉の増進	26
社会教育の推進	5
まち作りの推進	13
学術・文化・芸術・スポーツの振興	22
環境の保全	12
地域安全	1
人権の擁護・平和の推進	3
国際協力	1
男女共同参画社会の形成促進	1
子どもの健全育成	16
情報化社会の発展	2
NPO活動支援	2
合計	104

49

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 **行政を総合化する**
- 7 率先例をつくりだす

50

多治見市 政策形成ヒアリングが 必要になった理由

問題意識 1

「環境基本計画」が「環境課の基本計画」になっていないか

問題意識 2

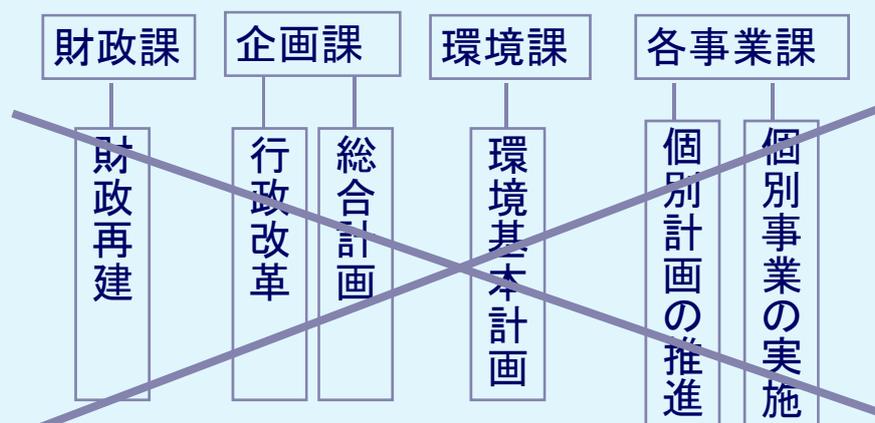
ISO14001が「エコオフィス」に特化されていないか
都市計画や土木部署の環境管理が「オフィスの節電」「紙の減量」でよいのか

問題意識 3

財政再建、行政改革、人材育成、環境行政・・・
あふれる課題をどう消化していくのか

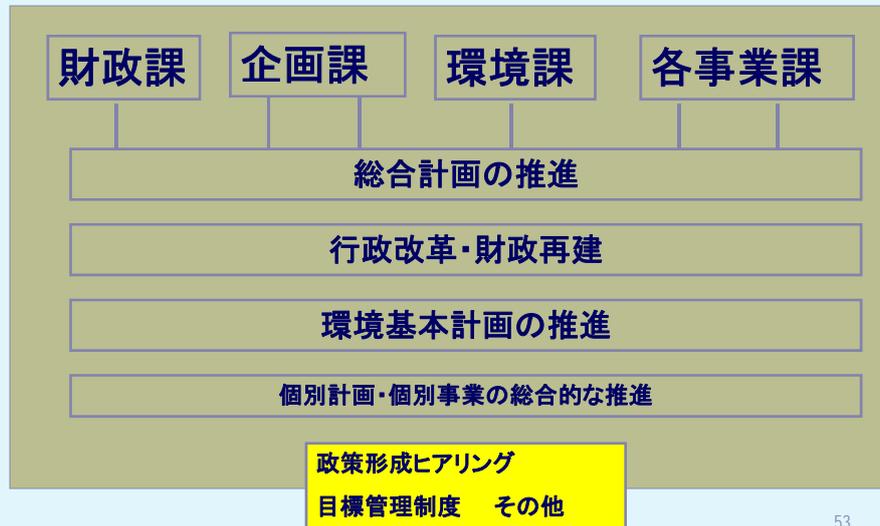
51

従来の行政運営イメージ



52

めざす行政運営イメージ



53

多治見市

市街地の用水路整備(建設部)

- ・ 建設部の目的：老朽化した水路の改修
- ・ 行政改革：市施設の維持管理へ地域住民の参画を→企画・設計時から
- ・ 若手職員自主研修：「メダカの学校構想」
→人事秘書課 管掌
- ・ 環境基本計画：市街地での親水空間整備、
ビオトープづくり



上記を兼ね備えた整備計画づくりへ

54

メダカ通りビフォー アフター



2001年



2004年

55



2006年



植栽活動 (2001年)



住民が作った田んぼ ビオトープ



57

持続可能な社会を創る7つの提案

- 1 人を生かす、創る
- 2 地域の将来像を描く
- 3 戦略的に事業を組立てる
- 4 環境、経済、社会を合わせる
- 5 パートナーシップを深める
- 6 行政を総合化する
- 7 **率先例をつくりだす**

58

挑戦—地域から日本を変える—

第3回セミナー開催 2月28日午後

読売広告社 コムホール

第3集 高島町、飯田市、北九州市

第2集 板橋区、多治見市、水俣市

第1集 住民参画

ニセコ町、大和市、津山市、熊本市

(財)ハイライフ研究所との協働



挑戦

—地域から日本を変える—

映像版 日本の環境首都コンテスト先進事例集

第1集

住民参画の仕組みづくりとパートナーシップ



環境首都コンテスト
日本の環境首都コンテスト

59



今こそ
変革の
とき!
本気で
つくり
たい
持続可
能な
地域社
会
挑戦している自治体は
ここが違う
温暖化防止も、
活性化も、
安心な社会も可能な

学芸出版社

<http://eco-capital.net/>
office@eco-capital.net

主幹事団体 環境市民
電話 075-211-3521
FAX 075-211-3531
<http://www.kankyoshimin.org>
life@kankyoshimin.org

著作権上の理由から、この資料の許可のない複製はご遠慮ください